

筑豊小児科医会会報

Vol.203 2023.12



Contents

- ◇ 今月のトピックス（救急科 部長 山田哲久）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2023年9月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス（救急科 部長 山田哲久）

救急科は、救命救急センターの中で救急搬送患者に対する初期診療を行っています。

当院は、人口 40 万人の筑豊地域唯一の三次救急施設です。筑豊地域の最後の砦としての役割を担うために、救急科医師（スタッフ・後期研修医・専攻医）とローテーションしている初期研修医および後期研修医・専攻医が 365 日 24 時間救急搬送患者に対応しています。また、院内外の約 50 名におよぶ待機医師による診療の協力を得ています。



救急科では、三次症例の救急搬送患者の状態を迅速に安定させ、各専門科医師に引き継ぐ役割を担っています。当院への救急搬送件数は 5,500 件/年、心肺停止症例 300 件/年程度です。救急科が行う救急処置では、気管挿管が 450 件/年、動脈圧ラインが 550 件/年、中心静脈ラインが 250 件/年程度実施しています。一次二次症例に関しては、地域の医療機関にも受け入れをお願いし、適切な医療機関の選定を救急隊にもお願いしています。地域全体で筑豊地域の救急診療を実践しています。

救急科の特色の一つに、病院車運用方式を用いたラビットレスポンスカーによるドクターカーの運用があります。ドクターカーには医師、看護師、救急救命士が乗車し、現場から傷病者に対する診療を開始することで早期の医療介入を実践しています。

今後も筑豊地域の救急医療を地域の医療機関と協力しつつ実践して参ります。

研修医のご紹介

● 初期研修医 1年目 かわさきひろや 川崎裕哉

はじめまして。初期研修 1 年次の川崎裕哉と申します。福岡県宗像市で生まれ育ち大分大学医学部を卒業して、4 月から飯塚病院で研修しております。

小児科研修では病棟管理や家族、患者さんへの病状説明を学ばせて頂いております。小児、特に乳幼児は言葉での症状の訴えがなく、成人の診察よりも難しいと感じます。指導医の先生方から指導を受けながら患者さんの非言語的な訴えに気を配りつつ研修していきたいです。まだまだ至らない点が多いと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



● 初期研修医 1年目 えとうしんぺい 江藤慎平

これまで研修させていただいたことを活かして病棟に貢献するとともに、小児の対応を患者さんとの対応を通して学ばせていただきたいです。

6 週間宜しくお願いいたします。



小児科関連勉強会のご案内

■ 第 352 回 筑豊小児科医会勉強会

●日 時：2023 年 12 月 21 日（木）19：00～20：00

●形 式：ハイブリッド開催

●会 場：のがみプレジデントホテル

講演「インフルエンザと COVID-19 の予防・治療戦略」

つむらファミリークリニック 院長 津村 直幹先生

*参加ご希望の方は 12 月 18 日（月）までにお申し込みをお願い致します。

詳細は案内状をご確認ください。

■ 第 46 回 筑豊感染症懇話会（第 353 回 筑豊小児科医会勉強会）

●日 時：2024 年 1 月 25 日（木）18：30～19：40

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2023 年 9 月》

●入院患者数 125人 ●外来患者数 1,059人 ●救命救急センター受診者数 281人

●新生児センター入院患者数 10人 ●分娩件数 22件 ●手術件数 9件

●主要疾患数（退院患者数：108人）

| | | | | | |
|---------------|----|---------|----|--------------|---|
| 肺炎・気管支炎 | 11 | 低出生体重児 | 10 | 痙攣及びてんかん | 9 |
| 喘息 | 8 | 急性胃腸炎 | 6 | 急性上気道感染症 | 5 |
| 新生児呼吸障害・心血管障害 | 3 | 腸重積・腸閉塞 | 2 | 高ビリルビン血症及び黄疸 | 1 |
| その他 | 53 | | | | |

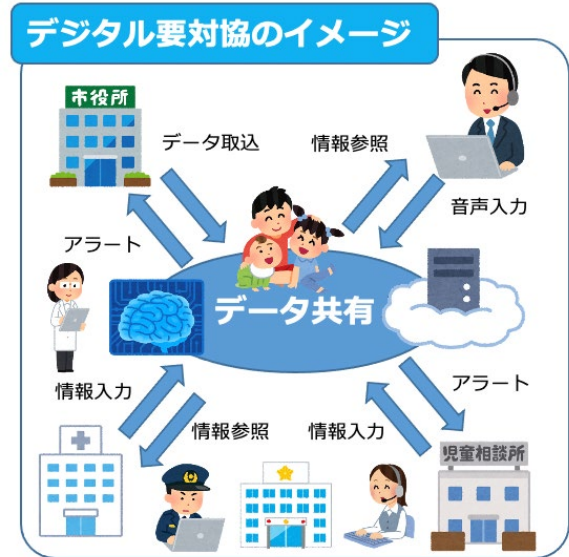
●9月紹介件数

| 小児科：144 件 | | | 小児外科：9 件 | | |
|-----------|-----------------|------|-----------|--------------|---|
| ① | いづかこども診療所 | 10 | ① | 栗原小児科内科クリニック | 2 |
| ② | ささきこどもクリニック | 8 | | 松尾ファミリークリニック | |
| | 社会保険田川病院 | | ③ | 田川市立病院 | 1 |
| ④ | 松尾ファミリークリニック | 田中医院 | | | |
| ⑤ | 栗原小児科内科クリニック | 6 | たなかのぶお小児科 | | |
| | こどもクリニックもりた | | 二田水整形外科医院 | | |
| | 弥永内科小児科医院 他 1 件 | | 福智町立方城診療所 | | |

要保護児童対策地域協議会のデジタル化推進

飯塚病院は「児童虐待防止拠点病院」として、地域ネットワーク構築や要保護児童対策地域協議会（以下、要対協）への参画など、地域における児童虐待の未然防止や早期発見に取り組んでいます。

このたび、全国的にも先進的な「要対協のデジタル化及びAI技術を活用したリスク予測システムの構築」を目指し、飯塚病院と飯塚市、福岡県、麻生情報システム及びNECソリューションイノベータとの間で、連携協定を締結しました。



【メディア掲載情報】



西日本新聞 me



RKB オンライン



NHK福岡 NEWS WEB

小児虐待防止委員会 委員長 田中 祥一郎

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

師走です。先日、武田鉄矢さんの「今朝の三枚おろし」というラジオ番組を聞いていたところ、彼が「どうして子どもって親の思い通りに育たないのでしょうか」という相談を受けたと話していました。彼の母は息子が福岡県の教員になることを望んでいましたが、息子は教育大学を退学して東京で歌手になり、テレビで日本一有名な教員になりました。そんな自身の体験を踏まえて彼は「子育てってそういうものですよ」と答えたそうです。思い通りにならないことが面白い結果を生むこともあるという事なのでしょう。

振り返って自分の子育てはどうだったか。子どもたちに手がかかる時期は自分も若かったので仕事量が多く、人間的にも未熟だったので視野が狭く、人のことを慮ることができずに感情的になることもありました。そんな状態の子育てに余裕がある訳もなく、子どもたちに悲しい思いをさせたのではないかと軽くトラウマを感じています。似たような経験をしている方は少なくないのではないのでしょうか。そんな経験をして思うのは、子育てとは子を育てるのではなく、親が育つ過程：「親育ち」だったんだということです。

鉄矢さんが言うように子どもは親が思うようには育ちませんが、親が自らを整え、子どもに対峙し、話を聴き、落ち着いた関係を築くことができれば悪いようにはなりません。発達心理学者のバウムリンドは養育には「統制」に「温かさ」を併せ持つことが重要だと説きました。私たちは子育てにおいてルールを守ることを重視しがちですが、同じくらいに親は子どもたちの行動を許し、温かさで包むことが求められるのです。そのための「親育ち」です。他人の人生は変えられません。たとえそれが自分の子どもでも同じです。変えられるのは自分だけなのです（自己啓発本っぽくなってしまいました、すみません）。

最後に、子育てと同様に親が育つためには彼らを許し、温かく見守る人や社会が必要です。今の社会は彼らに統制ばかりを強いていないのでしょうか。私たちは良い「親育て」ができているのでしょうか。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

